

# JAグループ広島 営農通信

2023年  
夏号

## 全農提供ラジオ番組のご紹介



<https://www.tfm.co.jp/agripower/>  
●放送日：毎週木曜日 6:15～6:25 (広島FM)  
●パーソナリティ：川瀬良子さん



<https://www.tfm.co.jp/cdj/>  
●放送日：毎週土曜日 13:00～13:55生放送 (広島FM)  
●パーソナリティ：ジョージ・ウィリアムズさん 安田レイさん



農業部

<https://www.tfm.co.jp/lock/nohgyou/>  
●放送日：毎週木曜日 23:00～23:06 (広島FM)  
●パーソナリティ：鶴見 萌さん 大和明桜さん

～全国FM38局で放送中～



JA全農ひろしまホームページ



<https://www.zennoh.or.jp/hr/>

JA全農ひろしま 営農情報LINE



▲3-R田植え体験会の様子

### ◆ 米穀情報

- ①米の需給動向
- ②民間在庫の推移等について
- ③県南部地域「恋の予感」2年連続特A獲得について

### ◆ 園芸情報

- ①広島県園芸振興協会の取り組み概要
- ②青果物の販売経過および情勢

### ◆ TOPICS

- 耕畜連携・資源循環ブランド「3-R」の取り組み

### ◆ 営農技術情報

- ①鶏ふんの原料・製法・成分
- ②鶏ふんの特徴
- ③鶏ふんの肥料効果について
- ④鶏ふん施肥時の注意点

### ◆ 肥料・農薬情報

- ①水稻本田防除の徹底について
- ②栽培管理システムのご紹介ーはかる蔵ー

### ◆ 農業機械情報

- ①水田の水管理の省力化に!!自動水門センターの活用
- ②見直そう! 農業機械作業の安全対策

# 米穀情報

## ① 米の需給動向

農林水産省の需給見通しでは、令和4年産生産量や需要量の見通しを踏まえた令和5年6月末民間在庫を191～197万トンと見込んでいます。令和5年産の適正生産量は669万トンとされているため、面積ベースで令和4年産と同規模の作付け転換を図れば需給が均衡する見通しとなります。

一方、需要量については、新型コロナウイルス感染症の状況や価格と販売の変動により、国の見通し以上に在庫量が増大する可能性もあります。

【主食用米等の需給見通し(農林水産省の資料を基に作成)】

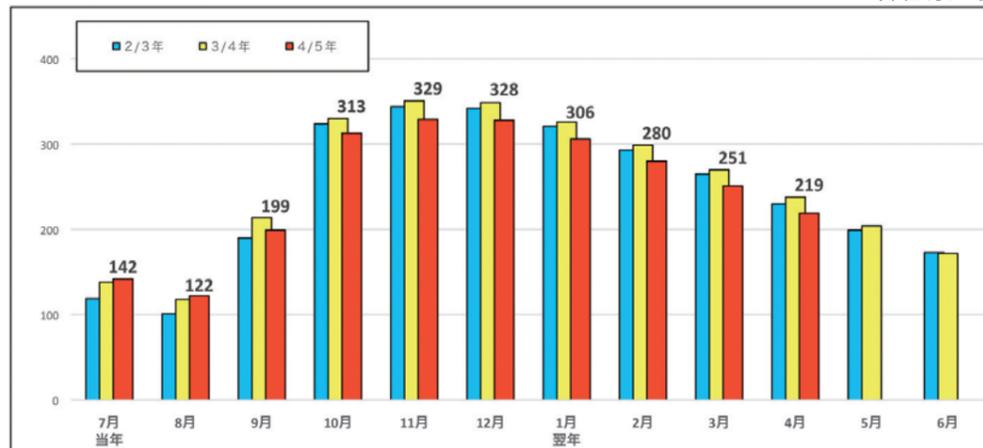
国の需給見通し(3/1食糧部会)			
令和4/5年	令和4年6月末民間在庫量	A	218
	令和4年産主食用米等生産量	B	670
	令和4/5年主食用米等供給量計	C=A+B	888
	令和4/5年主食用米等需要量	D	691～697
	令和5年6月末民間在庫量	E=C-D	191～197
令和5/6年	令和5年産主食用米等生産量	F	669
	令和5/6年主食用米等供給量計	G=E+F	860～866
	令和5/6年主食用米等需要量	H	680
	令和6年6月末民間在庫量	I=G-H	180～186

(注1) 主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向、コロナ影響緩和と特別対策(特別枠)の販売動向等によって、今後、変動する可能性がある。  
(注2) 四捨五入の関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

## ② 民間在庫の推移等について

農林水産省が公表した令和5年4月末の出荷および販売段階におけるうるち米の民間在庫は、219万トン(前年同月比△19万トン)となっています。一方、直近の需要動向は、コロナ禍で落ち込んでいた中食・外食等の消費が回復傾向にあるものの、家庭で消費される米の販売は伸び悩んでおり、今後の需要動向の見通しが立ちにくい状況が続いています。

【民間在庫の推移(出荷+販売段階)(農林水産省の資料を基に作成)】 (単位:万トン)



## ③ 県南部地域「恋の予感」2年連続特A獲得について

### (1) 概要

一般財団法人日本穀物検定協会より公表された「令和4年産米の食味ランキング」において、広島県(南部)の「恋の予感」が特A評価を獲得しました。このランキングは同協会が良質な米作りの推進と消費拡大に役立てるため、昭和46年産米から毎年全国の産地品種を対象に実施している評価制度です。「特A、A、A'、B、B'」の5段階で評価され、特A評価は近年、お米の付加価値をわかりやすく伝えられる指標となっています。



「恋の予感」は4回目の出品となった令和3年産に続き2年連続の特A獲得となりました。同一品種の2年連続特A獲得は県内初の快挙となり、今後ますます注目を浴びることが予想されます。

### (2) 品種特性

**きわ立つ粒の食感**  
張りの良い、やや大きめの粒は口の中でその存在をたちどころに主張し、噛みしめるほどに弾力と旨みが引き出され、飲み込んだ後もその存在感が色あせることはありません。

**冷めてもふっくら、ぶりぶり感**  
お米の本当の美味しさは冷めた時にこそわかります。冷めても硬くなりやすく、ふっくら、ぶりぶりとした粒感を維持するため、お弁当やおむすびに適性を発揮します。

**おかずを選ばない万能型**  
噛むほどにじわりと甘味が出てくるつつまじやかな味わいで、どんなおかずにもマッチします。粒が丈夫なので、丼やカレー、酢飯などとも相性の良さを発揮します。

### (3) 今後の取り組みについて

JA全農ひろしまでは、令和4年度より広島県産米の消費拡大を目指す『ひろしま米はひろしま愛プロジェクト』を進めています。広島県産米の認知向上、購買促進につなげるべく、他企業とのコラボ企画なども計画中です。ランディングページ(専用サイト)では随時情報を発信しているので、是非ご覧ください。

●『ひろしま米はひろしま愛プロジェクト』ランディングページ(専用サイト)  
URL: <https://www.hiroshimamai.jp>



■全農ひろしまホームページ <https://www.zennoh.or.jp/hr/>  
※トップページから、「米穀」とお進みください。

全農ひろしまは、今後も広島県内のお米や産地の魅力を発信していきます。

〈お問合せ先〉米穀総合課 / 三好: TEL.082-431-5450  
米穀販売課 / 塚本: TEL.082-431-3000

# 園芸情報

## ① 広島県園芸振興協会の取り組み概要

広島県園芸振興協会(事務局:園芸課)は、広島県野菜中期5カ年計画「ひろしま野菜2025年振興計画」を基に、行政機関、JAグループさらには市場との連携をより強化し、専門委員会活動や4つの品目部会(軟弱野菜品目部会・果菜品目部会・露地型野菜品目部会、花き部会)活動を通じ、目標である以下の取り組みに力を入れています。

- ①青ねぎやトマトなどの県域重点品目等の生産拡大や、産地育成・産地拡大に向けて、実態を踏まえた意欲ある野菜振興推進計画を策定しました。また、新技術の開発、新品種の導入・定着のための展示ほの設置、各種研修会の実施、協会独自事業の活用、さらには効果的な品目部会活動等に力を入れています。
- ②時代の流れに対応した加工業務用野菜への取り組みを継続するとともに、JA全農ひろしまと連携し、生産を流通で支える仕組みづくりを目指した出荷拠点、集荷ルートの再構築、市場と連携した流通対策、県内産野菜の情報発信等を積極的に進めています。また、花きの振興については、県内のJA共販主要品目を中心に、現地検討会や研修会の開催、実証展示ほ設置などの活動を、関係機関と連携して取り組んでいます。

### ■令和4年度 品目部会活動(実績)

開催月	開催内容	品目部会名
7月	アスパラガス新品種の増収効果について	露地型野菜品目部会
8月	ほうれんそうの猛暑対策について	軟弱野菜品目部会
9月	トマト栽培における環境制御技術について	果菜品目部会
11月	白ねぎ管理作業の機械化の取り組みについて	露地型野菜品目部会
12月	ハウスチンゲンサイにおける土壌還元消毒後の施肥について	軟弱野菜品目部会

### ■令和5年度 品目部会活動(予定)

開催月	開催内容	品目部会名
6月	アスパラガス多収穫技術確立について	露地型野菜品目部会
7月	果菜品目環境制御による高度多収穫技術について	果菜品目部会
7月	軟弱野菜品目夏季高温期高品質安定生産技術について	軟弱野菜品目部会
9月	広島中央市場の花き展示視察	花き部会
11月	白ねぎ栽培技術について	露地型野菜品目部会

※開催月および開催内容については変更となる場合があります。

〈お問合せ先〉 園芸課 / 藤田: TEL.082-846-4708

## ② 青果物の販売経過および情勢(全国情勢と販売状況)

### ◆青果物(令和5年4月～5月の)全国情勢と5月末販売状況

※金額は全て税抜

令和5年4月の日本の平均気温は平年より+2～3℃で、5月は+1℃で推移しました。降水量は、低気圧や前線の通過に伴い、西日本の太平洋側と日本海側、北日本で多くなりました。

全国の野菜の出荷状況について、根菜類は前進出荷傾向でしたが、大幅な出荷数量の減少は見られませんでした。葉茎菜類及び果菜類は、夜温の冷え込みや、なり疲れにより生育の遅れが見られましたが、土物類(ばれいしょ、さといも、たまねぎ等)の生育は順調でした。

そのような中、JA全農ひろしまの主要品目別市場出荷実績(令和5年5月末累計)のうち、卸売市場仕向けについては、出荷量1,471トン(前年比96%)、金額654,909千円(同105%)、単価は445円/キロ(同109%)で推移しています。

### ■全農ひろしまの市場販売状況(令和5年4月～令和5年5月累計)

	数量		金額		単価	
	(t)	前年比	(千円)	前年比	(円/kg)	前年比
<b>野菜合計</b>	<b>1,471</b>	<b>96%</b>	<b>654,909</b>	<b>105%</b>	<b>445</b>	<b>109%</b>
青ねぎ	303	98%	147,453	114%	487	117%
アスパラガス	74	104%	123,941	108%	1,666	104%
トマト	234	89%	97,926	89%	419	101%
ほうれんそう	148	98%	70,066	110%	474	112%
きゅうり	223	94%	54,027	98%	243	105%
こまつな	237	107%	53,039	115%	224	108%
さやえんどう	28	101%	35,457	122%	1,255	121%
わけぎ	29	49%	19,373	66%	672	133%
ちんげんさい	42	105%	13,518	114%	323	108%
みずな	31	74%	10,038	91%	322	123%
レタス	48	105%	7,415	113%	155	108%
えのきだけ	21	205%	5,720	264%	276	128%
きぬさやえんどう	2	118%	4,124	115%	1,753	97%
白ねぎ	15	79%	4,119	83%	272	105%
その他	37	123%	8,694	111%	237	90%

※全農ひろしまの主要品目別市場出荷実績

〈お問合せ先〉 園芸課 / 藤田: TEL.082-846-4708

◆5月単月の概況

【出荷量】

○出荷量は823トン(前年比105%)となりました。最も出荷量が多かった青ねぎは165トン(同105%)、2番目に多かったトマトは153トン(同94%)、3番目に多かったきゅうりは143トン(同101%)、となりました。

○軟弱野菜類が4~5月の好天により前進出荷傾向で出荷量が増加し、こまつなは128トン(同112%)、ほうれんそうは82.9トン(同113%)となりました。

【単価・金額】

○単価は430円/キロ(前年比106%)、販売金額は出荷量増と単価高により354百万円(同111%)となりました。最も出荷量の多かった青ねぎの単価は535円/キロ(同114%)、トマトは388円/キロ(同102%)、きゅうりは205円/キロ(同93%)となりました。

○出荷量が増加した軟弱野菜類の単価は、こまつなは216円/キロ(同103%)、ほうれんそう451円/キロ(同101%)となりました。

○量販店の販売動向は、レタス、トマト、ミニトマト、きゅうり、にんじん、アスパラガス、アボカドは好調に推移しました。じゃがいも、たまねぎ、なす、竹の子、豆類、にんにく、カット野菜、きのこ類などは低調に推移しました。

◆6月の見通し

(1) 入荷量の見通し

6月の指定野菜(14品目)は、北海道、関東、東海、中国、四国、九州産が出回り、入荷量は、前月、前年、平年と同等と見込まれます。

(2) 卸売価格の見通し

6月の指定野菜の卸売価格についても、前月、前年、平年と同等と見込まれます。

○品目別の入荷量・卸売価格の見通し(6月)

品目	入 荷 量			卸 売 価 格			(参考)前年6月の主産地シェア(%)
	前月比較	前年比較	平年比較	前月比較	前年比較	平年比較	
だいこん	▲	=	=	=	=	=	山口(43)、広島(30)、北海道(9)
にんじん	=	=	=	=	=	=	長崎(63)、熊本(36)
はくさい	▲	=	=	=	=	=	長野(64)、大分(14)、山口(11)
キャベツ	=	=	=	=	=	=	大分(22)、愛知(20)、熊本(11)、宮崎(10)、長野(10)
ほうれんそう	=	=	▲	=	=	=	広島(95)、群馬(3)
青ねぎ	=	=	▲	=	=	↗	広島(66)、大分(12)、鳥取(7)
白ねぎ	▲	=	↗	↗	=	=	鳥取(68)、大分(15)
レタス	=	=	=	=	▲	=	長野(92)、群馬(3)
きゅうり	=	=	=	▲	=	▲	広島(26)、宮崎(26)、佐賀(23)、熊本(14)
なす	↗	=	=	▲	=	=	福岡(66)、佐賀(17)
トマト(ミニトマトを除く)	=	=	=	▲	=	=	広島(38)、熊本(33)、島根(22)
ピーマン	↗	=	↗	▲	↗	=	大分(42)、宮崎(25)、熊本(13)
ばれいしょ	=	=	=	▲	=	▲	長崎(79)、熊本(7)
たまねぎ	▲	↗	▲	=	▲	=	佐賀(61)、島根(13)、山口(8)
計	=	=	=	=	=	=	

注:「平年」とは、過去5か年の平均値である。

※この資料の内容は、令和5年5月25日現在で見込んだものであり、今後の気象条件の変化等により変動があり得る。

※主要野菜の入荷及び卸売価格の見通しのコメント及びグラフは令和5年5月31日中国四国農政局生産部園芸特産課の発表内容による。

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の入荷量の推移

単位:トン

品目	3月上旬		3月中旬		3月下旬		4月上旬		4月中旬		4月下旬		5月上旬		5月中旬	
	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比
だいこん	324	115%	318	104%	396	121%	270	82%	304	97%	223	70%	262	111%	391	131%
にんじん	173	94%	155	77%	148	81%	155	71%	252	101%	230	95%	233	120%	316	133%
はくさい	215	69%	191	62%	252	81%	180	62%	222	88%	202	82%	210	89%	205	96%
キャベツ	478	87%	521	90%	535	90%	499	88%	560	96%	488	85%	574	99%	615	108%
ほうれんそう	44	74%	57	99%	54	102%	38	81%	34	74%	36	72%	32	77%	44	90%
青ねぎ	38	87%	35	80%	44	94%	38	86%	39	84%	34	73%	33	78%	44	97%
白ねぎ	56	107%	64	127%	49	106%	38	94%	38	98%	33	92%	33	110%	40	126%
レタス	162	83%	201	92%	197	89%	184	90%	164	84%	184	89%	177	91%	235	113%
きゅうり	160	98%	185	102%	177	79%	192	84%	194	74%	182	68%	219	86%	229	88%
なす	73	103%	90	131%	77	106%	61	82%	74	78%	74	80%	95	105%	87	98%
トマト(ミニトマトを除く)	102	105%	96	119%	100	81%	102	86%	118	94%	122	85%	152	93%	183	99%
ピーマン	40	87%	48	95%	57	92%	53	86%	46	67%	56	83%	57	85%	76	109%
ばれいしょ	245	93%	191	91%	165	57%	158	72%	275	107%	219	82%	200	77%	290	100%
たまねぎ	387	92%	359	90%	385	70%	453	98%	473	106%	393	87%	301	106%	294	93%

資料:「広島市中央卸売市場日報」

注:平年比70%以下及び130%以上の数値に色を付けています。

〈お問合せ先〉園芸課 / 藤田:TEL.082-846-4708

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の卸売価格の推移

単位：円/kg

品目	3月上旬		3月中旬		3月下旬		4月上旬		4月中旬		4月下旬		5月上旬		5月中旬	
	卸売価格	平年比														
だいこん	80	90%	72	91%	70	98%	69	104%	84	117%	90	122%	87	122%	74	102%
にんじん	160	97%	163	100%	163	101%	156	109%	157	121%	150	116%	158	133%	124	121%
はくさい	81	102%	103	132%	98	118%	71	94%	78	100%	90	117%	131	181%	90	140%
キャベツ	85	87%	86	106%	84	103%	98	115%	113	113%	117	122%	116	120%	81	89%
ほうれんそう	440	121%	375	113%	324	94%	463	116%	501	105%	521	114%	493	121%	454	104%
青ねぎ	553	102%	509	108%	470	111%	457	111%	496	117%	537	122%	612	132%	570	121%
白ねぎ	278	89%	227	80%	223	75%	276	91%	307	93%	329	92%	361	91%	342	92%
レタス	209	136%	167	133%	138	105%	171	122%	165	105%	168	118%	143	95%	168	112%
きゅうり	377	119%	309	101%	297	113%	342	144%	305	140%	291	140%	259	138%	233	108%
なす	359	92%	341	86%	337	87%	382	100%	404	120%	384	101%	387	103%	384	107%
トマト(ミニトマトを除く)	387	105%	403	109%	440	119%	417	114%	389	112%	366	116%	331	114%	311	120%
ピーマン	768	117%	742	118%	612	110%	565	114%	593	128%	600	134%	557	132%	474	135%
ばれいしょ	136	79%	144	84%	194	112%	267	151%	270	133%	218	109%	230	117%	207	114%
たまねぎ	127	99%	130	98%	127	104%	109	94%	103	92%	102	80%	108	98%	106	92%

資料:「広島市中央卸売市場日報」

注:平年比70%以下及び130%以上の数値に色を付けています。

## 月別の天候

### 全国 3か月予報(6月~8月)

令和5年5月23日14時00分 気象庁発表「向こう3か月の見通し」

06月~08月	気温	平均気温は、東・西日本で平年並みまたは高い確率ともに40%、沖縄・奄美で高い確率50%です。
6月	天候	北日本と東日本日本海側では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わってでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。東日本太平洋側、西日本、沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
7月	天候	北日本と東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。東日本太平洋側では、西日本では、期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、東・西日本で平年並みまたは高い確率ともに40%、沖縄・奄美で高い確率50%です。
8月	天候	北日本では、天気は数日の周期で変わってでしょう。東・西日本、沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、東・西日本で平年並みまたは高い確率ともに40%、沖縄・奄美で高い確率50%です。

出典:気象庁ホームページ

〈お問合せ先〉園芸課 / 藤田:TEL.082-846-4708

## TOPICS

## トピックス

### 耕畜連携・資源循環ブランド「3-R」の取り組み

#### ●3-R 田植え体験会を開催

5月13日(土)に世羅町小国で、3-R商品「循環米せらにしあきさかり」の生産者である「おぐにフィールド」様の圃場に親子(29名)を招き、田植え体験会を開催しました。「おぐにフィールド」様は、「鶏ふん堆肥」を活用した資源循環型農業に取り組まれています。

当日は、「せらにしあきさかり」の苗の手植えをはじめ、ワークショップ(神経衰弱)を通して3-Rについて学び、炊きたての「せらにしあきさかり」を昼食として提供し、実際に商品を食べてもらうことで、資源循環型農業の大切さを、身近に感じてもらうことができました。参加された親子は「お米を残さず食べたい」や「3-Rに興味をもった」といった声をいただきました。9月23日には稲刈り体験会も実施する予定です。



▲田植え体験会の参加者



▲ワークショップ(神経衰弱)の様子

#### ●広島大学との共同研究

4月28日(金)に三原市の全農チャレンジファーム広島・高坂農場で、2年目となる広島大学と水稲栽培における鶏ふん堆肥の有効活用に向けた共同研究を開始しました。

昨年度の研究では、1aあたり鶏ふん0、20、40、60、80、100キロ散布して区画別調査を行い、1aあたり60キロが収量・品質ともに安定した数値となりました。ただし鶏ふん堆肥由来の窒素は比較的早く分解する可能性があるため、施用時期を遅くするなどの調整が必要だということが注意点としてあがりました。

今年度は鶏ふん堆肥の施肥量をそれぞれ1aあたり20、40、60、80、100キロ、慣行区(化成肥料による施肥体系)の6つに分けた試験区を設置し研究を進めていきます。また、温室効果ガスによる環境への負荷軽減を目指し、今年度新たに人為起源で問題となっている水田からのメタンの発生抑制についても研究を進めていきます。中干し期間を1週間程度延長することでメタンの発生を抑制できるのですが、同時に生育や収量にも影響するため、この中干し期間の延長により稲の生育や鶏ふんの肥効にどのような影響を与えるのかを調査していきます。研究結果をもとに水稲栽培の持続可能な農業の確立を目指します。



▲鶏ふん堆肥の散布

〈お問合せ先〉改革推進課 / 狩谷:TEL.082-846-4701

# 営農技術情報

## 地域の資源を見直そう ～鶏ふんの特徴について～

### ① 鶏ふんの原料・製法・成分

肥料として利用する“鶏ふん”は、発酵・堆積処理をされたものが多く、そのほかにもバーク(樹皮)などを混ぜて堆肥化したもの、火力で乾燥させたもの、生ふんそのものなどがあります(図-1)。

一般的には、肥料法での特殊肥料に分類されますが、硫酸を使用して火力乾燥し、加圧後に乾燥処理したものや、熱風乾燥と粉碎を同時に行ったものは「加工家きんふん肥料」として化成肥料と同様の扱いを受けます。

また、近年の法律改正により、一定の品質を保持できるものは、化成肥料や土づくり肥料などと混ぜて普通肥料として販売することが可能となりました。広島県内においても、この法律において認められた鶏ふん入りの水稲用一発型肥料「エコケッコー」などの取り扱いが始まりました。

成分例	特殊肥料*
*(平均値:草地試験場1983より) **(最低保証値)	・生ふん :窒素全量6.2%, リン酸全量5.2%, 加里全量3.1%
	・乾燥・発酵ふん :窒素全量3.7%, リン酸全量6.4%, 加里全量3.0%
	・鶏ふん堆肥 :窒素全量1.9%, リン酸全量3.7%, 加里全量2.4%
	普通肥料
	・加工家きんふん肥料*** 窒素全量2.5%, リン酸全量2.5%, 加里全量1.0%, 水分20%以下

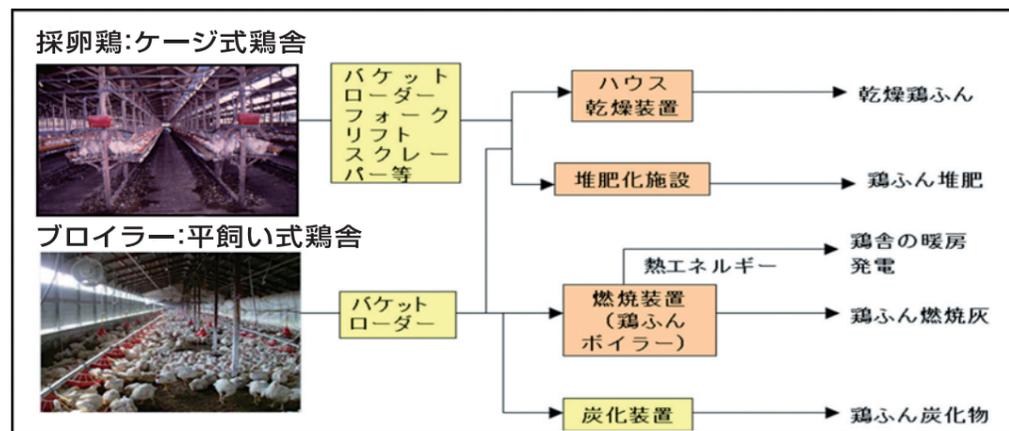


図-1 鶏の飼養形態と排泄物の処理システム例(原田)

### ② 鶏ふんの特徴

鶏は採卵鶏とブロイラーに分けられ、なかでも広島県に多い採卵鶏は、カルシウムやリン酸の給与量が多いため、ふん中にもこれら肥料成分が多い傾向にあります。

鶏ふんは、他の家畜ふんに比べると肥料成分が高く、分解が速い特徴があり、土量改良としての有機物というより、むしろ肥料としての効果が大きくなります。特に、採卵鶏由来の鶏ふんはカルシウムやリン酸などの有効成分も多く含まれており、「肥料効果」と「土壌改良効果(養分補給)」を併せ持つ優れた肥料です。

また、生ふんや乾燥ふんについては、施用量や土壌の水分条件によってはガスなどが発生しやすくなり、作物の生育を妨げることがあります。そのため、発酵鶏ふんや鶏ふんたい肥の方が、より安心して使用することができます。

### ③ 鶏ふんの肥料効果について

鶏ふんは、速効性のある肥料とされ、その窒素成分の肥効期間は約1か月程度とされています。ただし、この期間は、施用する土壌の条件や時期、鶏ふんの処理方法により異なります。

また、鶏ふんの窒素成分が作物に利用される肥効率は10～80%と差が大きく、全窒素が多いほど窒素肥効率が高くなり(図-2)、鶏ふん中の尿酸態窒素が多いほど、窒素の肥効率は高くなっています(図-3)。

窒素以外の肥料成分においても、作物の生育を促す有効な成分が多く含まれており、リン酸の利用率は無機質肥料と同等です。なかでも、鶏ふんを燃焼させた灰は、鶏ふん燃焼灰と呼ばれ、ゆっくりと効く溶性リン酸やカリなどを含んでおり、化成肥料の原料として使用されます。

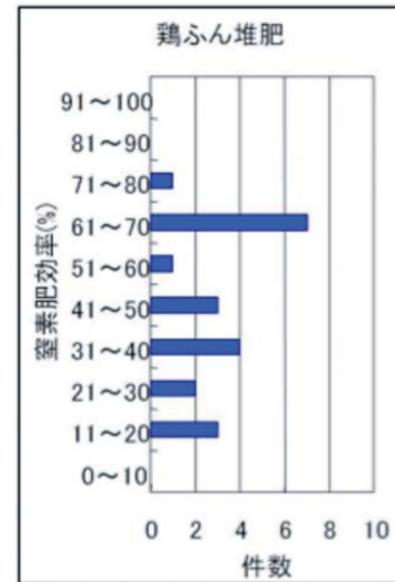


図-2 鶏ふん堆肥と窒素肥料効率の関係(渋谷・木村)

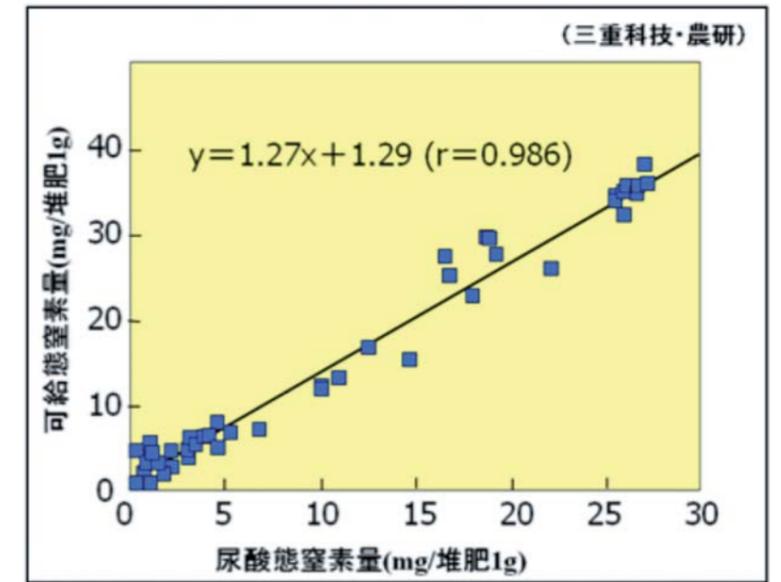


図-3 尿酸態窒素と可給態窒素の関係(三重)

### ④ 鶏ふん施用時の注意点

鶏ふんは、腐熟が不完全な場合、多量に施用すると、ガス障害や濃度障害を起こすことがあります。特に、ハウスやトンネル栽培では注意が必要です。肥料コストの低減を目的に、野菜の基肥として使用される場合は窒素3～4%以上のものを選ぶことをおすすめします。ただし、リン酸やカリが過剰となる恐れもあるので、土壌診断結果などをもとに施肥量を加減してください。



写真-1. 3-R推奨堆肥の認定に向けた県内産堆肥の品質評価試験(ホウレンソウ)

〈お問合せ先〉 広島営農技術センター / 片島 : TEL.082-437-2317

# 肥料・農薬情報

## ① 水稲本田防除の徹底について ~高収量・高品質の実現に向けて~

7月以降は県内でも、水稲栽培において本田防除時期を迎えますが、近年「トビイロウンカ」「イネカメムシ」「いもち病」「紋枯病」等の病害虫の発生が多く、過去に大きな被害を受けた地域もあります。収量や品質の維持向上のため、水稲の本田防除は計画的に実施してください。



圃場全体に広がった穂いもち(2021年)

### ●今後の発生が問題となる主要病害虫と防除のポイント

#### 1. いもち病 【要因】低温、日照不足、多雨

窒素肥料の多施用も発生を助長します。薬剤での対策は、発病前の予防散布がポイントです。穂ばらみ期(出穂前)と穂揃期(出穂後)の2回の防除が遅れないよう徹底してください。

#### 2. 紋枯病 【要因】高温、多湿

高温・多湿が発生要因となるため、密植、過繁茂の場合は注意が必要です。薬剤での対策は、穂ばらみ期(出穂前)の散布を徹底してください。

#### 3. ウンカ類 【被害】坪枯れ

ウンカ類は中国から飛来してきます。発生の少ない初期の防除が重要です。薬剤の効果をも高めるために、株元まで十分かかるよう散布してください。

#### 4. カメムシ類 【被害】斑点米・黒点米

適期防除が重要になります。発生が多い場合は穂揃期(出穂後)と乳熟初期(出穂10日頃)、発生が少ない場合は乳熟後期(出穂15日頃)に薬剤防除を行うと効果的です。



紋枯れ病が上位葉まで伸展した株(2021年)



トビイロウンカによる坪枯れの様子(2022年)



病害虫の発生状況は、「広島県病害虫発生予察情報」で確認できます。

### ●今後の発生が問題となる主要病害虫と防除のポイント

穂ばらみ期(出穂前)防除の時期は、出穂10~7日前頃、穂ぞろい期(出穂後)防除の時期は、80~90%が出穂した頃とされています。

-15 -14 -13 -12 -11 -10 -9 -8 -7 -6 -5 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8 +9 +10 +11 +12 +13 +14 +15	
出穂前防除時 ←	
→ 出穂後防除時	
出穂	
<p>【防除薬剤】  <b>アミスタートレボンSE</b> 又は  <b>ノンプラスバリダダントツフロアブル</b>                  対象病害虫：いもち病・紋枯病・ウンカ類</p>	
<p>【防除薬剤】  <b>ビームエイトスタークルゾル</b> 又は  <b>ダブルカットスタークルフロアブル</b>                  対象病害虫：いもち病・ウンカ類・カメムシ類</p>	
<p>主な出穂前(穂ばらみ期)防除剤  <b>アミスタートレボンSE</b>      <b>ノンプラスバリダダントツフロアブル</b></p>	
<p>【適用病害虫】                  いもち病・紋枯病                  カメムシ類・ウンカ類                  ツマグロ□□パイ</p> <p>【登録使用時期】                  収穫14日前まで</p>	<p>【適用病害虫】                  いもち病・紋枯病                  カメムシ類・ウンカ類</p> <p>【登録使用時期】                  収穫14日前まで</p>
<p>主な出穂後(穂揃い期)防除剤  <b>ダブルカットスタークルフロアブル</b></p>	
<p>【適用病害虫】                  いもち病                  カメムシ類・ウンカ類</p> <p>【登録使用時期】                  穂揃い期まで</p>	

## ② 栽培管理システムのご紹介—はかる蔵—

作物の栽培において気温、照度などを数値化して見える化することは収量や品質の維持向上のために重要です。しかし、人の力で日々データを収集し、見える化するには労力がかかります。労力をかけず手軽に見える化できるシステム、それが「はかる蔵」です。

### 1. はかる蔵とは

ハウス内の環境をモニタリング・記録して、測定したデータをスマートフォンなどへ転送します。親機と子機があり子機で集めたデータを親機に集約して処理します。

#### ①測定内容について

気温、湿度、地温、二酸化炭素濃度、照度(1分ごとにデータを取ります)

#### ②設置について

親機・子機共に電源につなぐだけで設置ができます。工事は必要ありません。



設置が簡単



### 2. はかる蔵の機能について

#### ①グラフ作成機能

ハウス内の温度など、測定したデータをすぐにグラフにすることができます。他のハウスのデータを比較できるため新たな発見をすることができます。

#### ②コミュニティ機能

コメント・写真・グラフをメールで送り、他産地との意見交換が簡単にできます。

#### ③日誌機能

簡単操作で栽培管理の入力ができます。日誌を探す手間や紛失する心配がありません。

#### ④警報機能

ハウス内を24時間監視し、異常があればスマートフォン等へ通知します。警報条件は自由に設定できます。



警報設定で安心



〈お問合せ先〉 肥料農薬課 / 谷保: TEL.082-846-4705

# 農業機械情報

## ① 水田の水管理の省力化に!! 自動水門センサーの活用

近年、1経営体当たりの作付面積が増え、農作業の省力化を行うスマート農業への関心が高まっています。今回は水田の水管理の省力化につながる自動水門センサーをご紹介します。

### 【アクアポート】

- ・遠隔監視・制御機能:水位による自動開閉
- ・電源供給:単一電池4本
- ・導入効果:センサー及び手動による給水・止水(水位を任意に設定できるため、除草剤の処理層形成、ジャンボタニシの活動抑制に効果あり)。
- ・特徴:「手頃で手軽」をコンセプトとした通信機能を持たない自動給水機で、本機単独で使用が可能。設置が簡単(使い回し可能)。



製品紹介はこちら

### 【水田ファーモ】

- ・遠隔監視・制御機能:スマートフォンで水位管理と給水の開閉
- ・電源供給:太陽光発電
- ・導入効果:遠隔から水田への給水・止水が可能。
- ・特徴:月額費用がかからず製品代金だけで利用可能(アプリに登録)。



## ② 見直そう! 農業機械作業の安全対策

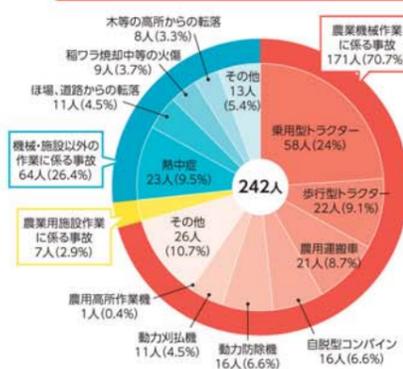
# 慣れた時こそ安全確認を怠らず!

シートベルト、ヘルメット **ヨシ!**

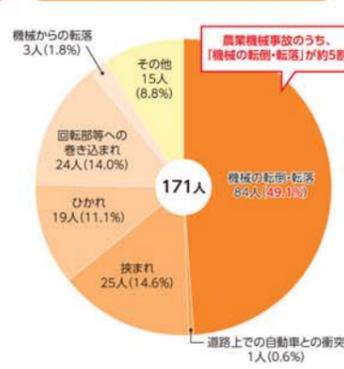
安全フレーム(または安全キャブ)、低速車マーク、反射器 **ヨシ!**

機械の整備状態、服装 **ヨシ!**

農作業における要因別の死亡事故発生状況(令和3年)



農業機械事故による死亡要因(令和3年)



令和3年の1年間で発生した農作業死亡事故は242件、そのうち農業機械作業に係る事故は171件(約70%)、さらにそのうち機械の転倒・転落での事故が約50%を占めています。

<出典:農作業死亡事故調査(農水省)>

農業者も労災保険に加入できる制度があります。

詳細は最寄りのJA・県中央会等にお問合せください。

※一部のJA・県中央会については取り扱い出来ない場合があります。



〈お問合せ先〉 農業機械課 / 神田: TEL.0824-62-3103